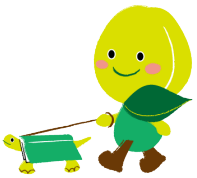
かめだ図書館だより

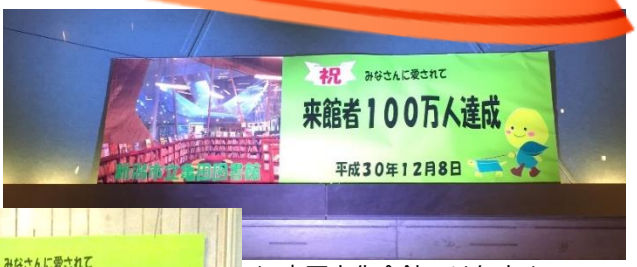
新潟市立亀田図書館（江南区文化会館内）第２３号　平成３０年１２月発行



亀田図書館キャラクター
ウメちゃん

祝　来館者100万人達成！

米山区長から記念品の贈呈



江南区文化会館では年末まで
記念ボードをライトアップ中！

たくさんのお子さんから力作をいただきました

見事にくす玉が割れました！

12 月 8 日、亀田図書館が平成 24 年 10 月に移転開館してから、来館者が 100 万人を達成することができました。

当日、100 万人目の来館者となったのは江南区内在住の大瀬愛桜（おおせまお）さん（6 歳）。一緒に来館していたご家族と共にくす玉を割ってもらった後、米山弘一江南区長から記念品の贈呈を行いました。

愛桜（まお）さんは「100 万人目になってびっくり。ウメちゃんのタペストリーがかわいいので家に飾りたい」と語りました。

また、来館した子どもたちから、100 万人達成記念のウメちゃんぬりえを塗ってもらい、亀田図書館への素敵なメッセージをもらいました。

亀田図書館　クリスマスおはなし会

今年は午前と午後、２回実施します。午後の部は、小学生向けのプログラムになっています。参加した子ども達には、ささやかなプレゼントをご用意していますので、ぜひご参加ください。

日時　12 月 23 日（日・祝）
会場　亀田図書館　おはなしのへや
申込不要　当日直接会場へ

午前の部	
時間	午前 10 時 30 分から 11 時
対象	乳幼児から大人まで
内容	クリスマスや季節の絵本の読み聞かせなど
午後の部	
時間	午後３時から３時 30 分
対象	小学生以上
内容	小学生向きの絵本や昔話を語ります

日ごろの疑問、図書館で解決してみませんか？
～レファレンス（調査・相談）サービスのご案内～

図書館では、資料やデータベース（検索やデータの蓄積が簡単にできるように整理された情報システムのこと）などを使って、利用者の皆さんのさまざまな疑問解決のお手伝いしています。これを**レファレンス（調査・相談）サービス**といい、図書館にとって重要なサービスの１つです。

図書館の職員が、本・雑誌・新聞、時にはインターネット等を駆使し、膨大なデータの中からお目当ての本や情報を探し出したり、疑問解決のヒントを提案します。

例えば……

・図書館の本はどのように並んでいるの？
・伊坂幸太郎の新刊が読みたい
・先月ラジオか新聞で紹介されていた、健康に関する本を知りたい
・平成２４年の江南区の子ども人口を調べたい

など、知りたいこと調べたいことがあれば、お気軽にカウンターの職員にお声掛けください。

レファレンスサービスの流れ

1 カウンターで相談

2 図書館職員が様々な方法で調査

3 目当ての情報を提供

新潟市立図書館では高齢者向けサービスの充実に努めています！

いきいきシニア健康講座を開催しました！

１０月２７日（土）、秋の読書週間事業の一環として、江南区文化会館でシニア向けの健康講座を開催しました。

当日は、管理栄養士の髙橋政子さんから「食」から考える講話と、ストレッチングトレーナーの長瀬圭子さんからイスを使って簡単にできる軽運動や音楽に合わせた体操を教えていただきました。

「３食しっかりとることが大切」、「カラダを動かしてスッキリした」、「笑顔で体操するのは楽しかった」と参加したみなさんに楽しく学んでいただくことができました。

大活字本をご存知ですか？

大活字本は１文字が通常よりも３倍ほど大きく印刷されている本です。そのため、小さな文字が見えづらい方にも読みやすくなっています。文字が大きくなった分、2～3 冊の分冊になっていますが、重くて持ちづらい、本が開きにくいといったことはありません。

また、背景が黒で文字を白にする、字が読みづらくなった方にも見えやすいと言われるゴシック体を使うなど、弱視の方でも読みやすくするための工夫がされています。

亀田図書館では、大活字本約 500 冊を集めたコーナーを雑誌棚の奥に設置しています。

文字サイズの違い（イメージ）

（一般の小説本）
亀田図書館（明朝体）
（大活字本）
亀田図書館（ゴシック体）

俳句の窓

江南区は昔から俳句が盛んな土地柄です。
地域の俳人・小嶋紅円さんから、江南区にゆかりのある俳人の句を紹介していただきます。

雨に濡れ白鳥ひたすら落ち穂食(は)む

渡邉　ようもつ

本名・渡邉勇作。江南区城山在住。師匠から、福島潟の俳句会で魚待小屋の句を詠んで「ようもつ」の俳号を授かる。亀田の「芽吹句会」まとめ役・介護施設で俳句指導等をされている。

八ツ目網葦辺(あしべ)に掛けて寒さ待つ

髙橋　正忠(まさただ)

北区松浜在住。医療関係の仕事をしていたことから、亀田と縁を持ち、「花鳥諷詠」の写生俳句に精進された。卒寿を遥か超えた今も、毎月亀田に来られ、俳句会を楽しんでおられる。

小嶋紅円さん＊本名小嶋健一(元教員)。亀田下早通出身。田村山火・紅子夫妻に俳句を教わる。俳誌「雪」「鷗」に投句。著書：『世継椙』（俳句・俳文集）

おすすめの本

『最後の秘境　東京藝大』

二宮　敦人／著

新潮社　2016 年

タイトルのとおり、東京藝術大学について書かれた本……なのですが、「受験で肩を壊す」、「親不知も抜けない」など、インタビューの言葉から取り出された目次には不思議な言葉が並びます。著者の奥様をはじめ、藝大生への取材を基に書かれており、美術と音楽それぞれに邁進する学生の姿がいきいきと紹介された一冊です。

図書館職員　長谷川

『くませんせいがねているうちに』

すとう　あさえ／ぶん　たかくわ　こうじ／え

ハッピーオウル社　2017 年

森の保育園は明日から長い冬休み。くませんせいは春まで冬眠してしまうので、クリスマスがどんなものなのかわかりません。うさぎちゃんたちは、寝ているくませんせいを起こして、一緒にお祝いしようとクリスマスの準備をします。

まるでかわいいサンタさんのように準備に奮闘するみんなの気持ちが、色鮮やかな絵から伝わってくる微笑ましいクリスマス絵本です。

図書館職員　飯島

「かめだ図書館だより」第 23 号・平成 30 年 12 月発行（年 4 回発行）
編集・発行　新潟市立亀田図書館（新潟市江南区文化会館内）
新潟市江南区茅野山 3-1-14
電話：025（382）4696　FAX：025（381）8003
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：https://www.niigatacitylib.jp
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：kameda.cl@city.niigata.lg.jp